

みみの記念日 3月3日耳の日 6月6日補聴器の日 9月9日人工内耳の日 9月23日手話言語の国際デー

3年ぶりの空で 会いましょう

2022 佐賀インターナショナルバルーンフェスタ ＝ 3年ぶりの有観客開催 ＝



佐賀の秋の風物詩「バルーンフェスタ」が11月2日～6日の5日間開催されました。2020年は中止、21年は期間短縮無観客で実施された。初日朝の競技飛行は嘉瀬川河川敷の会場から江北町の田んぼを目指して55機が一斉に離陸しました。快晴に恵まれて5日間で全国から84万9千人が来場。あまりの晴天のため午後の競技は4日間とも「サーマル」や「つむじ風」の発生が予測されて中止となりました。

ただいま！

おかえり！

最終日の午後は「キー・クラブ・レース」地上5mに吊るされた鍵型のターゲットをキャッチするレースが行われました。総合成績は1位・藤田雄大選手（佐賀）、2位・山下太一朗選手（京都・佐賀出身）、3位・平野新郎選手（佐賀）、昨年1位の上田選手（佐賀）は、惜しくも4位。今年は1位～5位まで全て佐賀在住または出身の選手でした。



期間中は、佐賀県手話の会連絡協議会が協力し、JRバルーンさが駅昇降口と本部前に毎日手話通訳者が待機していました。

また、祝日と土曜・日曜には放送塔前のお立ち台にて競技時の手話通訳を行いました。このボランティアは平成10年の第19回大会から始まり、20年以上続いています。「熱気球大会に手話通訳があるのは世界でも佐賀だけ。パイロットの皆さんも驚かれる。本当に感謝しています。」と、組織委員会水町代表より何度もアナウンスいただきました。



聴覚障害者・情報支援者による

佐賀インターナショナルバルーンフェスタ第4回写真コンテストも3年ぶり！

前回最優秀賞を受賞された大阪の福丸さん一家（写真左）が11月1日に佐賀入りして、サポートセンターにも来館されました。写真コンテストの応募締切は11月20日（日）18時必着。結果発表は12月18日（日）に実施予定です。



役に立つ 新シリーズ〔5〕

聴こえの困りごと相談事例から具体的に相談のあった事例を紹介しします。第5回は補聴器利用中の50代男性からの相談です。

補聴器で固定電話が使いにくい



以前から耳掛け式の補聴器を使われていますが、職場の電話はほとんど聞き取れなくて困っているという相談がありました。電話に出てから聞き取れるまでに手間取ってしまい、内容がわからないまま通話が終わることもあるそうです。電話の相手には少し待っていただくようお願いはしていますが、急ぎの要件の場合は対応が難しいので何か方策がないかとのことでした。

マイクの位置がわかりにくい

補聴器で電話が聞き取りにくいのは、聞こえやすい最適位置が分かりにくいからです。通常の耳掛け式補聴器の集音マイクは補聴器本体の側面に配置されているため、受話器を通常どおり耳に当てると電話の音声をうまく拾うことができません。受話器を意図的に耳介の後方に向ける工夫が必要です。



耳あな型補聴器の利用を提案

補聴器専門店とも協議して、確実に電話対応ができるように耳あな型補聴器を使うことを提案しました。耳あな型補聴器はマイクが耳穴の位置にあるので、通常の持ち方で補聴器を通した通話ができます。実際に使っていただくと、固定電話がよく聴き取れるようになり、急な電話で慌てることもなくなっただけです。



>> 巡回聴こえの相談 <<

要予約



●大町町 大町町公民館2階 C 室

11月22日(火)10:00~15:00

●伊万里市 松浦コミュニティセンター研修室

12月13日(水)10:00~15:00

●江北町 役場2階研修室

令和5年1月25日(水)10:00~15:00



編集後記:秋の空を鮮やかに彩るバルーン。

地上では笑顔の花が咲き乱れていました kiyo

佐賀県聴覚障害者サポートセンター

〒840-0826 佐賀市白山二丁目 1-12 (佐賀商工ビル4階)

TEL: 0952-40-7700 FAX: 0952-40-7705

メールアドレス: info@saga-mimisapo.jp

ホームページアドレス: http://saga-mimisapo.jp/

佐賀星生学園の手話班 17 名 (1・2 年生) による 手話活動発表がありました。(11月6日)

手話による自己紹介、手話歌が披露され、多くの父兄から手話による拍手を受けていました。発表の2日前にセンターの清田手話通訳士の直前指導から猛練習した成果が表れていました。



井崎哲也さん(日本ろう者劇団)が出身地の 江北町広報大使に任命されました。(11月6日)

任命式で井崎さんは、「秋篠宮様への手話の御指導、そして演劇を続けることができ、黒柳徹子さんとも出会い、いろんな方との出会いに支えられ今がある。東京オリ・パラではテレビに手話通訳が付き、字幕も付いた。今日の式典にも手話通訳がついており、大変嬉しく思う。私もお役に立てできるよう頑張ります。」と述べられました。その後、山田町長との懇談では手話言語条例について要望され、町長も「検討します」と対応されました。

「江北町広報大使」とは、江北町の魅力を全国に向けて情報発信していただき、町の認知度の向上を図ることを目的としています。(町広報より)

～ 短 信 ・ 短 信 ・ 短 信 ～

要約筆記者養成講座 修了式 (10月29日)

6/4~10/29

土曜日・21回

修了3名

(修了率 75%)



ろうあ者日曜教室 (10月9日) 25 名参加

～開通直後の西九州新幹線 乗車体験談～

内山 徹さん

(←写真左)

北野 幹亮さん

(写真右→)



<開館時間>

9:30 ~ 18:00

<閉館日>

毎週月曜日、祝日